

平成 2 9 年度

事業報告書

収支計算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目 次

平成29年度 事業報告

I. 法人の概要

- 1. 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3. 基金の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4. 役員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 5. 会議
 - (1) 理事会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (2) 評議員選定委員会の開催・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (3) 評議員会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 6. 役員改選
 - (1) 平成29年6月15日付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II. 事業の概要

- 1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）
 - (1) 周知方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (2) 助成金申請受付状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (3) 選考委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (4) 助成金交付件数及び助成額・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (5) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会・・・・・・・・ 8
 - (6) 交付対象となった研究概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2. 特記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

平成29年度 経理状況

- 貸借対照表（平成30年3月31日現在）・・・・・・・・・・・・ 13
- 正味財産増減計算書（平成29年4月1日～平成30年3月31日）・・・・ 14
- 正味財産増減計算書内訳表（平成29年4月1日～平成30年3月31日）・・・・ 15
- 財務諸表に対する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 財産目録（平成30年3月31日現在）・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 収支計算書（予算対比）（平成29年4月1日～平成30年3月31日）・・・・ 18

- 監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

平成29年度 事業報告書

I. 法人の概要

1. 目的

兵庫県における科学技術の研究開発を助成し、科学技術に関する知識及び思想の普及並びに啓発に努めることにより、科学技術の発展と科学思想の浸透を図り、もって兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資することを目的とする。

2. 沿革

昭和51年4月17日 設立許可（昭和51年4月17日付兵庫県指令文第1-3号）
基本財産 2億円（出損者：兵庫県）
昭和51年4月26日 設立登記
平成25年4月9日 公益財団法人へ移行登記

3. 基金の状況

基本財産	200,000,000円
出損金受領年月日	昭和51年4月19日
出損者	兵庫県
管理状況	兵庫県縁故債 (契約締結日：平成23年12月20日) 金額 200,000,000円

(注) 出損金はハニー化成(株)が兵庫県に寄附したものの。

4. 役員

平成29年6月15日 改選後

財団役職	氏名	所属・役職名
会長	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	中前 勝彦	神戸大学 名誉教授
理事	磯貝 武	有限会社アイピーアイ 代表取締役
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事 産業部長
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	山崎 徹	兵庫県立大学 副学長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事	宮口 美範	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士

評議員	井上 二三夫	シスメックス株式会社 知的財産本部長
評議員	亀岡 誠司	株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 知的財産部長
評議員	竹村 英樹	兵庫県産業労働部 産業振興局長
評議員	東 成昭	川崎重工業株式会社 技術開発本部 理事 知的財産部長
評議員	山田 文一郎	大阪市立大学 名誉教授

会長 1 理事 7 監事 2 評議員 5 (計 15 名)

5. 会議

(1) 理事会の開催

① 日時 平成29年6月 1日 (金) 15:00~16:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室II

理事会 出席者 (順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授

理事 磯貝 武 有限会社アイピーアイ 代表取締役

理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事 産業部長

監事 内沼 英城 みのり税理士法人 税理士

幹事 宮口 美範 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

事務局 水本 公治 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

(1) 第1号議案 平成28年度事業報告同収支決算(案)について

(2) 第2号議案 役員改選(案)について

(3) 第3号議案 評議員選定委員会開催(案)について

(4) 第4号議案 評議員会の招集について

② 日時 平成29年6月15日(木) 15:30~16:00

場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 共通会議室

理事会 出席者 (順不同・敬称略)

理事 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役

理事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授

理事 磯貝 武 有限会社アイピーアイ 代表取締役

理事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長

理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事 産業部長
理事	内田 仁	兵庫県立工業技術センター 所長
理事	山崎 徹	兵庫県立大学 副学長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事	宮口 美範	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
事務局	水本 公治	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

(1) 第1号議案 代表理事の選出について

- ③ 日時 平成29年12月15日(金) 14:00～15:00
 場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 共通会議室

理事会 出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	中前 勝彦	神戸大学 名誉教授
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
理事	平岡 靖敏	神戸商工会議所 理事 産業部長
理事	山崎 徹	兵庫県立大学 副学長
理事	吉田 眞也	ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事	宮口 美範	兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
事務局	水本 公治	一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

議決事項

- (1) 平成29年度兵庫県科学技術振興助成金 交付(案)について
 (2) 科学技術振興に関する第42回助成金贈呈の会(案)について
 (3) 平成29年度中間期事業報告について

- ④ 日時 平成30年3月8日(木) 15:00～16:00
 場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

理事会 出席者(順不同・敬称略)

理事	神門 登	ハニー化成株式会社 専務取締役
理事	中前 勝彦	神戸大学 名誉教授
理事	半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社 知的財産部長

理事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事 産業部長
理事 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長
理事 吉田 眞也 ハニー化成株式会社 代表取締役社長
監事 鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人 パートナー税理士
事務局 水本 公治 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事
事務局 田中 雅道 一般社団法人兵庫県発明協会 事務局長

議決事項

(4) 第1号議案 平成30年度事業計画同収支予算(案)について

(2) 評議員選定委員会の開催

- ① 日時 平成29年 6月1日(木) 16:00~16:30
- ② 場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館 セミナー室Ⅱ

出席者

外部委員

吉岡 秀樹 兵庫県立工業技術センター 次長(技術調整担当)
宮本 要 公益社団法人兵庫工業会 専務理事

関係委員

東 成昭 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 評議員
(川崎重工業株式会社 技術開発本部 理事 知的財産部長)
宮口 美範 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 監事
(兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長)
水本 公治 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 事務局員
(一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長)

事務局

神門 登 公益財団法人兵庫県科学技術振興財団 会長
(ハニー化成株式会社 専務取締役)

決議事項

第1号議案 評議員選任の件について

(3) 評議員会の開催

- ① 日時 平成29年 6月15日(木) 15:00~15:30
- ② 場所 兵庫県立工業技術センター 技術交流館1階 共通会議室

評議員会 出席者（順不同・敬称略）
 評議員 井上二三夫 シスメックス株式会社 知的財産本部長
 評議員 東 成昭 川崎重工業株式会社 技術開発本部 理事 知的財産部長
 評議員 山田文一郎 大阪市立大学 名誉教授

会 長 神門 登 ハニー化成株式会社 専務取締役
 理 事 坂井 幸蔵 株式会社アマデラスホールディングス 取締役会長
 理 事 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授
 理 事 太田 勲 兵庫県立大学学長
 理 事 磯貝 武 有限会社アイピーアイ 代表取締役
 理 事 半谷 正裕 住友ゴム工業株式会社 知的財産部長
 理 事 平岡 靖敏 神戸商工会議所 理事 産業部長
 監 事 宮口 美範 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長
 事務局 水本 公治 一般社団法人兵庫県発明協会 専務理事・事務局長

決議事項

- (1) 第1号議案 平成28年度事業報告同収支決算（案）の承認について
- (2) 第2号議案 役員改選（案）の承認について
- (3) その他報告事項
 1. 平成29年度事業計画同収支予算について

6. 役員改選

(1) 平成29年6月15日付 交代

理事			(順不同・敬称略)
神門 登	ハニー化成株式会社	専務取締役	重 任
中前 勝彦	神戸大学	名誉教授	重 任
磯貝 武	有限会社アイピーアイ	代表取締役	重 任
半谷 正裕	住友ゴム工業株式会社	知的財産部長	重 任
平岡 靖敏	神戸商工会議所	理事 産業部長	重 任
内田 仁	兵庫県立工業技術センター	所長	就 任
山崎 徹	兵庫県立大学	副学長	就 任
吉田 眞也	ハニー化成株式会社	代表取締役社長	就 任

任期：2年

次回改選期は平成31年6月予定

監事			(順不同・敬称略)
宮口 美範	兵庫県産業労働部産業振興局	新産業課長	重 任

鈴木 祥克 太陽グラントソントン税理士法人パートナー税理士 就 任
 任期：4年
 次回改選期は平成33年6月予定

評議員 (順不同・敬称略)

井上二三夫	シスメックス株式会社 知的財産部長	重 任
亀岡 誠司	株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 知的財産部長	重 任
竹村 英樹	兵庫県産業労働部産業振興局長	重 任
東 成昭	川崎重工業株式会社 技術開発本部 理事 知的財産部長	就 任
山田文一郎	大阪市立大学 名誉教授	就 任

任期：4年
 次回改選期は平成33年6月予定

II. 事業の概要

1. 研究及び科学技術に関する助成事業（科学技術振興助成金事業）

(1) 周知方法

- ・ 関係団体、県内各商工会議所・商工会・県民局等への案内送付
- ・ ホームページ掲載
- ・ 内部機関紙告知（兵庫県発明協会 機関誌 IPR）

(2) 助成金申請受付状況

① 受付期間 平成29年7月3日～平成29年9月29日

② 申請件数・金額

一般企業	8件	5,610,000円
研究機関	10件	21,700,000円
合 計	18件	27,310,000円

(3) 選考委員会

① 日時 平成29年11月28日（金）13:00～15:00

会場 兵庫県立工業技術センター 技術交流館1階 共通会議室

出席者（順不同・敬称略）

委員 中前 勝彦 神戸大学 名誉教授

委員 内田 仁 兵庫県立工業技術センター 所長

委員 山崎 徹 兵庫県立大学 副学長

委員 中村 俊一 神戸大学大学院医学研究科 教授

委員 宮口 美範 兵庫県産業労働部産業振興局 新産業課長

② 研究開発助成基準

1. 助成対象

兵庫県 県下の助成を必要とする個人、企業、研究機関（大企業、大規模プロジェクトは含まない）が次に掲げる研究開発等の事業（以下「助成事業」という。）を行うに必要な経費を、会長が適当と認めるものについて、予算の範囲内において交付する。

(1) 研究開発の試作試験費に対する助成

(2) 新技術の実施化資金に対する助成

2. 選考基準

- イ. 県下の科学技術の振興に寄与するもの。
- ロ. 新規な学術または技術であること。
- ハ. その計画が申請者において実施可能なものであること。

3. 選考方法

- イ. 申請書、添付資料により審査を行う。
- ロ. 必要に応じて内容聴取、または臨場調査することもある。
- ハ. 選考は次の区分に評価する
 - A・・・助成金の交付が適当である
 - B・・・Aに準じる
 - C・・・助成金の交付は適当でない
- ニ. 助成額は、年度予算を参考に選考委員の総意により、査定する。

(4) 助成金交付件数及び助成額

一般企業	2件	450,000円
研究機関	3件	750,000円
合計	5件	1,200,000円

(5) 科学技術振興に関する助成金贈呈の会

前年度助成金受賞者による研究成果発表会後、第42回科学技術振興に関する助成金贈呈の会を行った。

日時 平成30年1月22日(月) 14:00~15:50

場所 生田神社会館 3階 梅の間(神戸市中央区下山手通1-2-1)

参加者 約80名

内容

1. 贈呈の会記念 成果発表会 (14:00~15:30)

2. 助成金贈呈の会 (15:30~15:50)

挨拶 会長 神門 登 氏

審査経過報告 助成金選考委員会委員長 中前 勝彦 氏

助成金贈呈式



兵庫県科学技術振興助成金 年度別実績

(助成金単位:千円)

年度	回数	一般		学校		機関		合計	
		採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額	採用件数	助成金額
昭和 51	第 1回	9	6,330	3	3,050	1	115	13	9,495
昭和 52	第 2回	3	1,650	5	5,100	3	305	11	7,055
昭和 53	第 3回	12	6,600	3	2,400	-	-	15	9,000
昭和 54	第 4回	6	3,600	6	4,200	-	-	12	7,800
昭和 55	第 5回	4	5,000	5	4,000	-	-	9	9,000
昭和 56	第 6回	6	6,000	5	5,000	-	-	11	11,000
昭和 57	第 7回	5	6,400	6	5,600	-	-	11	12,000
昭和 58	第 8回	4	6,800	9	8,200	-	-	13	15,000
昭和 59	第 9回	5	6,000	7	7,400	-	-	12	13,400
昭和 60	第 10回	4	5,000	8	8,300	-	-	12	13,300
昭和 61	第 11回	5	4,000	6	6,000	-	-	11	10,000
昭和 62	第 12回	4	3,700	7	6,300	-	-	11	10,000
昭和 63	第 13回	5	3,600	7	6,400	-	-	12	10,000
平成 1	第 14回	5	3,500	8	6,500	-	-	13	10,000
平成 2	第 15回	2	1,900	9	8,100	-	-	11	10,000
平成 3	第 16回	3	2,800	8	8,400	-	-	11	11,200
平成 4	第 17回	5	4,000	7	6,000	-	-	12	10,000
平成 5	第 18回	3	2,200	6	5,800	-	-	9	8,000
平成 6	第 19回	2	1,300	3	3,700	-	-	5	5,000
平成 7	第 20回	0	0	5	5,000	-	-	5	5,000
平成 8	第 21回	1	550	2	1,450	-	-	3	2,000
平成 9	第 22回	1	500	5	3,500	-	-	6	4,000
平成 10	第 23回	1	800	4	3,200	-	-	5	4,000
平成 11	第 24回	2	1,400	3	2,400	-	-	5	3,800
平成 12	第 25回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 13	第 26回	1	750	4	3,050	-	-	5	3,800
平成 14	第 27回	1	300	5	3,500	-	-	6	3,800
平成 15	第 28回	0	0	5	3,300	-	-	5	3,300
平成 16	第 29回	0	0	5	2,900	-	-	5	2,900
平成 17	第 30回	1	300	6	3,300	-	-	7	3,600
平成 18	第 31回	5	2,100	3	1,500	-	-	8	3,600
平成 19	第 32回	2	800	3	1,200	-	-	5	2,000
平成 20	第 33回	3	900	3	900	-	-	6	1,800
平成 21	第 34回	4	1,200	3	900	-	-	7	2,100
平成 22	第 35回	4	1,500	2	600	-	-	6	2,100
平成 23	第 36回	6	1,800	5	1,200	-	-	11	3,000
平成 24	第 37回	2	500	4	1,200	-	-	6	1,700
平成 25	第 38回	1	200	6	1,800	-	-	7	2,000
平成 26	第 39回	1	300	4	1,200	-	-	5	1,500
平成 27	第 40回	3	700	3	900	-	-	6	1,600
平成 28	第 41回	3	600	4	1,100	-	-	7	1,700
平成 29	第 42回	2	450	3	750	-	-	5	1,200
合計		137	96,780	209	158,350	4	420	350	255,550

(注: 機関助成は昭和52年度で整備完了につき終了)

(6) 交付対象となった研究概要

「義歯用アタッチメントのシリコン化による緩衝性・維持力強化」

有限会社ハイテック 代表取締役 吉田 和弘

歯科医療において義歯（入れ歯）を必要とする高齢者が増えています。現状では、義歯の浮き上がりや不適合による痛みがでる等が課題になっています。それに対し、快適に義歯を装着、使用していただくために緩衝性を有し、メンテナンスを容易にする「シリコンアタッチメント」を開発します。義歯インプラントオーバーデンチャー用のアタッチメントとして、又は残根上アタッチメントとして、シリコンアタッチメントを使用する。歯科医院ではシリコン劣化時に新品のシリコン付きインナーキャップだけを取り換えることで初期の維持力が回復できる。患者さんは従来品のアタッチメントと比較すると義歯の取り外しやメンテナンスが容易にできるようになる。

助成金額 2.5万円

「結晶粒子径・粒子径分布および多形制御機構付きスマート晶析装置の開発」

関西化学機械製作株式会社 代表取締役社長 野田 秀夫

医薬等の化合物の多くは結晶として社会に供給されている。しかし、粒子径分布、多形、形状などの決勝特性を所望のものに制御することは容易ではない。所望の結晶を生産するには、冷却速度などのマクロな操作パラメーターを駆使して、結晶核形成速度と成長速度を制御することが必要である。しかし、晶析操作デザインは、依然として技術者の経験によるところが大きい。そこで、回分晶析装置そのものに結晶特性の制御機能を持たせたスマート晶析装置の開発を考えた。本技術を使えば、高度な晶析操作が必要な粒子径やその分布、あるいは多形析出などの代表的結晶特性の制御が簡単にできるようになる。

助成金額 2.0万円

「工具変形を考慮した微小時間および微小空間の切削現象が予測可能な切削シュミレータの開発」

神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 助教 西田 勇

工作機械による切削加工において、切削現象を予測することで、最適な加工条件の決定や自律型工作機械の実現を可能とする。切削現象を理解する目的で加工中の切削現象を予測する研究は古くから行われているが、解析の間隔が工具一刃回転当たりと大きく、微小時間および微小空間での現象を表現できないといった問題や、工具を剛体と仮定しているため、工具の変形の影響を表現できていないといった問題がある。そこで、本研究では、工具微小回転量ごとの解析を行い、微小時間および微小空間の切削現象が予測可能な切削シュミレータを開発する。また、工具の変形を考慮した解析を行い、仕上げ面精度の予測を実現する。

助成金額 2.5万円

「ポリアミン高生産性納豆菌の開発」

関西学院大学理工学部生命科学科 藤原 伸介

ポリアミンは、アミノ基を複数個有する塩基性分子であり、アルギニンまたはオルニチンから合成される。高ポリアミン食は長寿を促し、生活の質を維持するうえで極めて重要と考えられている。納豆は原料大豆がポリアミンを含み、発酵に用いられる納豆菌もポリアミンを生産する。本研究では納豆菌のアルギニン、ポリアミン生産性を高めた自然突然変異株の取得を目指す。アルギニンのアナログであるアルギニンヒドロキサメート、ウラシルのアナログである6-アザウラシルを中心に複数のアナログを合成し、納豆菌のアナログ耐性株を取得し、アルギニン、ポリアミンの生産性が向上した納豆菌の取得を目指す。

助成金額 2.5万円

「可食性コーティング貯蔵中の代謝変動の解析 ―イチジクを例として―」

神戸大学農学研究科資源生命科学専攻 教授 野村 啓一

可食性コーティングは、簡便・安価に加えて環境に優しい貯蔵法であるが、日本での開発は大きく立ち遅れている。今後の輸出を視野に入れた日本の農業では、CA貯蔵などの厳密な制御を要とする手法ではなく、簡便・安価な貯蔵法の開発も必須である。最適コーティング貯蔵条件の開発には、現状では多くの試行錯誤が必要で、極めて効率が悪い。これは貯蔵条件と果実代謝の相関が明らかでないことに起因している。

本研究では、イチジクを例として、キトサンを基にした多彩なコーティング素材を用い、それぞれについての貯蔵効果の差異を分子レベルで明らかにすることで、より効率的に条件設定が可能な一般則を見出すことを目的としている。

助成金額 2.5万円

2. 特記事項

開催日時	概要	場所
平成29年		
4月13日	会計監査（内沼監事）	発明協会事務室（財団事務局）
4月27日	会計監査（宮口監事）	兵庫県新産業課
6月1日	第1回理事会	県立工業技術センター技術交流館
6月1日	評議員選定委員会	県立工業技術センター技術交流館
6月15日	評議員会	県立工業技術センター技術交流館
6月15日	第2回理事会	県立工業技術センター技術交流館
6月20日	みずほフィナンシャルグループ社債購入	
6月30日	定期報告書類ネットにて提出	
7月2日	平成29年度 助成金申請受付開始	
7月7日	役員変更登記手続	法務局
9月29日	平成29年度 助成金申請受付締切	
9月29日	助成金平成28年度中間報告書提出締切	
10月20日	公益法人室法定検査	発明協会事務室（財団事務局）
11月28日	平成29年度 助成金選考委員会	県立工業技術センター技術交流館
12月15日	第3回理事会	県立工業技術センター技術交流館
平成30年		
1月22日	科学技術振興に関する第42回助成金贈呈の会	生田神社会館 梅の間
3月8日	第4回理事会	県立工業技術センター技術交流館
3月30日	定期報告書類ネットにて提出	

貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増減 (△)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,057,212	1,806,833	250,379
流動資産合計	2,057,212	1,806,833	250,379
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
縁故債	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
研究開発助成引当資産	6,000,000	6,000,000	0
特定資産合計	6,000,000	6,000,000	0
固定資産合計	206,000,000	206,000,000	0
資産合計	208,057,212	207,806,833	250,379
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	300,000	300,000	0
流動負債合計	300,000	300,000	0
負債合計	300,000	300,000	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	200,000,000	200,000,000	0
研究開発助成引当資産	6,000,000	6,000,000	0
指定正味財産合計	206,000,000	206,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	1,757,212	1,506,833	250,379
正味財産合計	207,757,212	207,506,833	250,379
負債及び正味財産合計	208,057,212	207,806,833	250,379

正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日 から 平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増減 (△)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	[2,140,000]	[2,140,000]	[0]
基本財産受取利息	2,140,000	2,140,000	0
② 特定資産運用益	[14,100]	[12,000]	[2,100]
特定資産受取利息	14,100	12,000	2,100
③ 雑収益	[33]	[24]	[9]
受取利息	33	24	9
経常収益計	2,154,133	2,152,024	2,109
(2) 経常費用			
① 事業費	[1,389,102]	[1,903,356]	[△ 514,254]
開発助成金支出	1,200,000	1,700,000	△ 500,000
委員会費支出	9,000	12,000	△ 3,000
諸謝金支出	40,000	60,000	△ 20,000
通信運搬費支出	46,240	39,204	7,036
消耗品費支出	12,322	9,612	2,710
賃借料支出	81,540	82,540	△ 1,000
② 管理費	[514,652]	[413,032]	[101,620]
会議費支出	89,000	78,500	10,500
事務委託費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	110,636	25,920	84,716
通信運搬費支出	12,496	5,880	6,616
雑費支出	2,520	2,732	△ 212
経常費用計	1,903,754	2,316,388	△ 412,634
当期経常増減額	250,379	△ 164,364	414,743
当期一般正味財産増減額	250,379	△ 164,364	414,743
一般正味財産期首残高	1,506,833	1,671,197	△ 164,364
一般正味財産期末残高	1,757,212	1,506,833	250,379
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	206,000,000	206,000,000	0
指定正味財産期末残高	206,000,000	206,000,000	0
III 正味財産期末残高	207,757,212	207,506,833	250,379

正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (研究開発助成金事業)	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,585,740	1,585,740	554,260	0	2,140,000
基本財産受取利息	1,585,740	1,585,740	554,260	0	2,140,000
特定資産運用益	14,100	14,100	0	0	14,100
特定資産受取利息	14,100	14,100	0	0	14,100
雑収益	0	0	33	0	33
受取利息	0	0	33	0	33
経常収益計	1,599,840	1,599,840	554,293	0	2,154,133
(2) 経常費用					
事業費	1,389,102	1,389,102			1,389,102
開発助成金支出	1,200,000	1,200,000			1,200,000
委員会支出	9,000	9,000			9,000
諸謝金支出	40,000	40,000			40,000
通信運搬費支出	46,240	46,240			46,240
消耗品費支出	12,322	12,322			12,322
貸借料支出	81,540	81,540			81,540
管理費			514,652	0	514,652
会議費支出			89,000	0	89,000
事務委託費支出			300,000	0	300,000
消耗品費支出			110,636	0	110,636
通信運搬費支出			12,496	0	12,496
雑支出			2,520	0	2,520
経常費用計	1,389,102	1,389,102	514,652	0	1,903,754
評価損益等調整前当期経常増減額	210,738	210,738	39,641	0	250,379
当期経常増減額	210,738	210,738	39,641	0	250,379
他会計振替額				0	0
当期一般正味財産増減額	250,379	250,379	0	0	250,379
一般正味財産期首残高					1,506,833
一般正味財産期末残高					1,757,212
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	206,000,000	206,000,000			206,000,000
指定正味財産期末残高	206,000,000	206,000,000	0	0	206,000,000
III 正味財産期末残高	207,757,212	207,757,212	0	0	207,757,212

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

課税売上がないため、税込にて処理

2. 会計方針の変更

該当事項はなし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
研究開発助成引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合 計	206,000,000	0	0	206,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
兵庫県縁故債	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
研究開発助成引当資産				
みずほフィナンシャルグループ社債	6,000,000	6,000,000	0	0
合 計	206,000,000	206,000,000	0	0

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲は、現金預金、未払金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	1,806,833	2,057,212
未払金	300,000	300,000
次期繰越収支差額	1,506,833	1,757,212

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	手元保管	運転資金として	8,634
	現金預金	普通預金 三井住友銀行兵庫支店	運転資金として	2,048,578
流動資産合計				2,057,212
(固定資産)				
基本財産	縁故債	兵庫県縁故債(年率1.07%)	公益目的保有財産であり、運用益の74.1%を公益目的事業の財源として、25.9%を管理費の財源として使用している	200,000,000
特定資産	研究開発助成引当資産	みずほフィナンシャルグループ社債(年率0.47%)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	6,000,000
固定資産合計				206,000,000
資産合計				208,057,212
(流動負債)				
	未払金	(一社)兵庫県発明協会に対する未払額	事務委託費の未払い分	300,000
流動負債合計				300,000
負債合計				300,000
正味財産				207,757,212

収 支 計 算 書 (予算対比)

平成29年 4月 1日 から 平成30年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異 (△)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	[2,140,000]	[2,140,000]	[0]
基本財産利息収入	2,140,000	2,140,000	0
② 特定資産運用収入	[0]	[14,100]	[△ 14,100]
特定資産利息収入	0	14,100	△ 14,100
③ 雑収入	[0]	[33]	[△ 33]
利息収入	0	33	△ 33
事業活動収入計	2,140,000	2,154,133	△ 14,133
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	[1,614,000]	[1,389,102]	[224,898]
開発助成金支出	1,400,000	1,200,000	200,000
委員会費支出	12,000	9,000	3,000
諸謝金支出	70,000	40,000	30,000
通信運搬費支出	38,000	46,240	△ 8,240
消耗品費支出	10,000	12,322	△ 2,322
賃借料支出	84,000	81,540	2,460
② 管理費支出	[526,000]	[514,652]	[11,348]
会議費支出	100,000	89,000	11,000
事務委託費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	114,000	110,636	3,364
通信運搬費支出	7,000	12,496	△ 5,496
雑費支出	5,000	2,520	2,480
事業活動支出計	2,140,000	1,903,754	236,246
事業活動収支差額	0	250,379	△ 250,379
II 投資活動収支の部			
投資活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	250,379	△ 250,379
前期繰越収支差額	1,506,833	1,506,833	0
次期繰越収支差額	1,506,833	1,757,212	△ 250,379

監 査 報 告 書

平成30年 5月11日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監事 宮 口 美 範 ㊟

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の平成29年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

監 査 報 告 書

平成30年 4月25日

公益財団法人 兵庫県科学技術振興財団
会 長 神 門 登 殿

監事 鈴木 祥 克 ㊞

私は、公益財団法人兵庫県科学技術振興財団の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び財産目録並びに収支計算書の正確性を検討いたしました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 財務諸表及び財産目録並びに収支計算書は、法人の平成29年度末日現在の財政状態並びに同年事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告は、法令又は定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上